

神代植物公園でのこれまでの開花状況と解説

歴代ショクダイオオコンニャク



東京都立 神代植物公園



令和3年6月開花時の様子

ショクダイオオコンニャクの花の中を見よう!!

**注** 雄花、雌花は仏炎苞に囲われ  
外から見えません。昆虫が媒介  
して受粉を行う虫媒花です。

**※中身**

**ふたつんぼう 仏炎苞**  
ブリーツ状になっている。  
内側は白い粉がついてすべすべしており、  
匂いに集まった虫はすべり落ちる。

**かたい 花茎**  
短い茎で花を支える。  
表面は緑色で斑点模様がある。  
中身は白くスポンジ状に  
なっている。

**ふたつんぼう 球茎**  
重さ：35 kg  
直径：50 cm  
周囲：159.5 cm  
※2021年2月24日の植替え時点  
扁平な球状で、ごっごつしている。  
中央のくぼみは前年葉が出ていた跡で、  
ここから新しい芽が出る。

**ふたつんぼう 雄花**  
たくさん集まっている。  
花弁はない。  
黄色くモコモコしている。  
開花したばかりの時は熟しておらず、  
雌花の後に熟す。

**ふたつんぼう 雌花**  
たくさん集まっている。  
花弁はない。  
赤黒い雌しべがたくさんあり、  
柱頭は熟すと黄色くなる。  
雄花よりも早く熟す。

**ふたつんぼう 付属体**  
2m以上に伸び、臭い匂いを出す。  
中身は白く繊維状になっている。

球茎の重さを計測中!  
35kgは重い!!

体重計